1 頁 令和 4年 8月20日 14時30分16秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02483 公民館施設管理事業 電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	004 市民の主体的な	学びを支える環境で	づくり		
事務事業	006 公民館施設管理	事業			
			T		
事業期間	昭和56年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市公民館の設置及び管	理に関する条例			
備考					

【重举分析】

【事業分析】	
対象	公民館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	施設の利用に関する受付事務及び施設の維持に係る改修、修繕、委託事務を実施します。
事務内容	施設の利用に関する受付事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】 (単位:千円)

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	タルコスト	375,147	657,307	594,248
事	業費	311,832	586,357	526,928
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	40,426	116,468	120,908
	一般財源	271,406	469,889	406,020
人	、件費計	63,315	70,950	67,320
	正規(人)	10.05	10.75	10.20
その化	也経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	施設の利用受付	施設の利用受付	施設の利用受付
【事務事業活動実績】	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施

# 事務事業評価シート(2/2) 🗼 🚉 🚓 4年 8月20日

2頁 14時30分16秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02483 公民館施設管理事業 上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
部屋利用率(利用部屋 数:利用可能部屋数)	%	47.00	47.00	47.00
数÷利用引能部座数	90	37.96	40.75	0.00
【 字 供 钟 体 】				

【 元	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		元注	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	<b>1</b>
1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
'				_
	理由	会議室の貸館は他でもあり	ますが、地域の防災拠点でもあります。	
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2			3 市民ニーズはない又は不明である	
_				
	理由	会議、研修、講座利用など	ニーズはあります。	
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	<b>1</b>
3			3 進捗はかなり遅れている	
١				
	理由	コロナ禍の影響により目標	を下回っています。	
	効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	<b>1</b>
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
+				
	理由	実施方法等の検討を行って	います。	
	公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
ľ				
L	理由	生涯学習施設としての利用		
F 1	次部佈結甲 1			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	生涯学習施設として利用者が快適に利用できるように、また地域の防災拠点としても老朽化する施設の保全を図っていきます。また、利用者目線に立った施設備品の選定や利便性を高める修繕等を実施していきます。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

E - O'CHI IMMENICA	
事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

3 頁 令和 4年 8月20日 14時30分16秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02484 市民会館施設管理事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】					
計画次数	02 第 8 次安城市総合計画				
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	004 市民の主体的な	学びを支える環境で	<b>がくり</b>		
事務事業	005 市民会館施設管	理事業			
事業期間	昭和47年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市民会館条例、安城市	民会館条例施行規則	J		
備考					

【事業分析】

▋●未刀忉▮	
対象	市民会館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的をしています。
手段	市民会館の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】 (単位:千円) (単位:千円) へ和 3年度 へ和 3年度 へ和 4年度

	令和 2年度	令相 3年度	令机 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	80,170	67,341	83,182
事業費	77,650	66,021	81,202
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	77,650	66,021	81,202
人件費計	2,520	1,320	1,980
正規(人)	0.40	0.20	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託
【事務事業活動実績】	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施

# 事務事業評価シート(2/2) 🔩 🚓 4年 8月20日

4頁 14時30分16秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係 事務事業 02484 市民会館施設管理事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
会議室利用率	0/	50.00	50.00	50.00
	%	42.60	43.94	0.00
サルビアホール利用率	0/	50.00	50.00	50.00
	%	34.21	54.05	0.00
【定性評価】				

[]		<u> </u>		
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	3
	理由	ホールや会議室の貸館は他		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	理由	発表会、講演会、販売会な	どでの利用は多くあります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	2
		コロナ禍の影響により定員		
4		事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
	理由	指定管理者制度を導入して		
5		事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	民間の企業力やノウハウを	生かし、水準を保っています。	·

### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	平成27年度から指定管理制度を採用し、平成30年度から5年間の新たな指定管理制度が始まっています。利用率の低下にならないように指定管理者との連絡を密にし、事業の内容の確認、助言や指示を行っています。また、利用者が快適に施設を利用できるよう適切な維持補修等を実施するとともに、利用者サービス向上に向けて継続的に指定管理者の管理運営の監視及び指導を行っています。

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5頁 14時30分16秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 電話番号 0566-76-1515 02485 天文普及事業

【基本情報】

【空中用刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	002 多様なニーズに	応じた学びの機会の	) 提供		
事務事業	010 天文普及事業				
事業期間	昭和56年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
	平成28年度の事務事業の	見直しにより、平原	は29年度から以下の事業を	統合しています。	
	・天文普及事業・プラネ	タリウム投映事業			
│ │ 備考					
113					
1					

【事業分析】

【争某刀们】	
対象	市民が
目的	天文の基礎知識を気軽に学ぶことができ、更に興味、関心を深めることができるようにすることを目的としています。
手段	幅広い年齢層を対象にした一般投映では広く天文普及を目指した番組を投映し、幼児や小中学生を対象にした団体投映では未来を担う子どもたちに宇宙に関する興味を抱かせるとともに、学校の授業の理解向上に繋がる番組を投映します。
事務内容	プラネタリウムの投映と番組更新及び天文普及に関する事務

(単位:千円) 【コスト】

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	33,969	42,756	40,415
事業費	31,449	39,456	37,115
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	20,209	21,681	27,920
一般財源	11,240	17,775	9,195
人件費計	2,520	3,300	3,300
正規(人)	0.40	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	一般投映の実施 (幅広い年齢層が観覧 できる番組) 団体投映の実施 (保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた客組) 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 (幅広い年齢層が観覧 できる番組) 団体投映の実施 (保育園、排園、小中学校等観覧者の年齢 に合かせた番類に合かせた番組) 特別投映会の 大体観望会の	一般投映の実施 (幅広い番層 できる映の生態 団体投質園 で体質園 で体育園 で体育園 、小 はで は は で は で き る は の 、 が ま を り を り を り を り を り を り を り を り を り を

6頁 14時30分16秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02485 天文普及事業

【定量評価】				上段:目標値 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
一般投映及び団体投映 観覧者数		17,000.00	17,000.00	23,000.00
既見白奴	^	9,842.00	22,653.00	0.00
	-			

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	元性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	<b>1</b>
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	<b>~</b>
•			
理由	プラネタリウムの投映は他	1でも多く行っています。	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		得る場としてニーズはあります。	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	1
3		3 進捗はかなり遅れている	
			I
理由	コロナ禍の影響から回復傾		
効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	<b>7</b>
4		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
<u></u>			
理由		後として委託化し効率を図っています。 	
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	_
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
			•
	7F784-1-11-24-1 1-1-34-1		
理由	近隣市と比較しても水準は	「休たれています。	
【1次評価結果】	維持・継続		
事業の方向性	新打守· ME 河		

事業の方向性	維持・継続
	市民が天文に対して興味を持ち、学ぶことができるプラネタリウムとして魅力ある番組選定を実施していきます。また、天文に関する興味、関心、想いを啓発し、天文の基礎知識及び天文普及事業に対する探究心や知識を高めるため、市民ニーズに沿った特別投映、天文観覧会などを委託業者に企画提案していきます。あわせて、プラネタリウムの魅力や投映情報を広く市内外にPRし、観覧者の増加を促進していきます。

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

7頁 令和 4年 8月20日 14時30分16秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価 0005751010 生涯学習課施設管理係 所属

電話番号 0566-76-1515 事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

7	# *	性報 1
ı	母巫'	le ¥⊽ J

計画次数	02 第8次安城市総	合計画				
5 Kの分類	004 きずな					
項目(施策)	004 14生涯学習					
施策の方針	004 市民の主体的な	学びを支える環境で	づくり			
事務事業	004 安祥閣施設管理	事業				
事業期間	昭和54年度 ~					
実施方法	全部委託					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目		
健幸事業		マニフェスト		地方創生		
根拠法令等	安祥閣の設置及び管理に関	する条例				
備考						
THE S						

### 【事業分析】

1 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	
対象	安祥閣の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	安祥閣の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コス	<b>. . . . .</b>			 (単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	- タルコスト 8,648		8,861	9,542
事	業費	7,388	7,541	7,562
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,388	7,541	7,562
人	件費計	1,260	1,320	1,980
	正規(人)	0.20	0.20	0.30
その化	也経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託
【事務事業活動実績】	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施

# 事務事業評価シート(2/2) \*\*\* # 8月20日

8頁 14時30分16秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係 事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

人	<u>"量評価"</u>	₩ /÷	△和 ○左座	△和 ○左座		「他」下段:実績 「しょを使
	指標名 屋利用率(利用部屋 ÷利用可能部屋数)	<b>単位</b> %	令和 2年度 28.90 13.60	令和 3年度 28.90 20.12	<u> </u>	① 4年度 28.90 0.00
定	2性評価】	+T/T = /T	_	++ 24-		-, -
_	<u>カテゴリ</u> 必要性	評価の観点 国・県・民間等との補		基準		ランク
1	必安住	国・泉・氏間寺200編 完性	1     国・県・民間等がサート       2     国・県・民間等のサート       3     国・県・民間等が同様の	ごスは不十分で、市で補完する。	必要がある	2
	理由	部屋の貸館は他でも多くあ	5りますが、茶室の貸館は少ない	です。		
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある			
2			2       社会情勢の変化等により         3       市民ニーズはない又はプロストライン	)市民ニーズは低下している 下明である		2
		和室のみとなっているため	┃  ┃ 5利田が限定されます			
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標と	どおりの進捗である		
3			2 目標を下回る進捗状況で3 進捗はかなり遅れている			2
			┃┃ ■を下向っ <i>て</i> います		I	
	<sup>娃田</sup> 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務さ 2 事業手法の検討や事務さ	<u>女善に取り組み、具体的な成果で</u> 女善に取り組んでいる 女善にあまり取り組めていない	を上げている	1
						•
		ー お定管理者制度を導入して	 [おり、効率的な事業運営をして	 に1ます。	I	
	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と	<u>と比較して適正である。</u> と比較してあまり適正でない。		1
	TB ±					
	<u>理由</u>	民間の企業力やノワハワを	<u> 活かして水準を保っています。</u>			
	<u>、公計画紀末』</u> 美の方向性	維持・継続				
'n	ペコメント (00文字)	平成18年度より指定管理制 いただいているものの、利	度を採用しています。和室限定に  用率は伸び悩んでいるのが現状  40年が経過し老朽化する中で、(	です。そのため指定管理者によ	る集客力のある	る事業が
2	次評価結果】					
	の方向性	評価未実施				
	ペコメント 100文字)	本事業においては、2次部	₫価を実施していません。			

1頁 14時32分15秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度

0005751020 生涯学習課生涯学習係 所属

事務事業 02487 【基本情報】 生涯学習計画推進事業

電話番号 0566-76-1515

_【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	004 市民の主体的な	学びを支える環境で	<b>がくり</b>		
事務事業	003 生涯学習計画推	進事業			
事業期間	平成17年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第	2号、第13条、第	第15条~第18条		
備考					

【事業分析】

【争美分析】	
対象	生涯学習推進計画が
目的	計画どおりに進捗します。
手段	令和3年3月に第4次安城市生涯学習推進計画を策定し、計画の進行管理・評価を定期的に実施する場として、社会教育審議会に毎年度計画の推進状況を報告し、意見・提言を得る機会を設けます。
事務内容	生涯学習推進計画の施策・事業の進捗管理、関係部局の関連事業の調査社会教育審議会の開催、社会教育委員の各種研修会・大会等への参加等

(単位:千円) 【コスト】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		9,601	3,755	4,218
事	業費	4,246	125	588
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	120	0	0
	一般財源	4,126	125	588
人	件費計	5,355	3,630	3,630
	正規(人)	0.85	0.55	0.55
その他	<b>也経費</b>	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	社会教育審議会におい	社会教育審議会におい	社会教育審議会におい
	て、第3次生涯学習推	て、第3次生涯学習推	て、第4次生涯学習推
	進計画の進捗状況報告	進計画の結果報告	進計画の進捗状況報告
【事務事業活動実績】	社会教育委員の各種研	社会教育委員の各種研	社会教育委員の各種研
	修会・大会等への参加	修会・大会等への参加	修会・大会等への参加
	第4次生涯学習推進計 画策定委員会、作業部 会等の開催		

2頁 令和 4年 8月20日 14時32分15秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係 事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

【				工权,口惊胆 下权,天浪胆
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
生涯学習講座・教室の 受講者数	l .	14,500.00	6,500.00	6,750.00
文碼有数	^	2,297.00	6,230.00	0.00

 定	<u>性</u>	評	<u>価</u>	1

【定性評価】	<del>-</del>		
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	完性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	4
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	·
1			
理由	市の計画であり、他の事業		
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	A
		3 市民ニーズはない又は不明である	1
2		3 1750 71660 716 141 600	
			_
	計画を推進することで 市		
—— <u>15年</u> 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
15.WIT		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	·)
3		3 足がながなり延れている	
	コロナ海の影響により、日		
	コロナ禍の影響により、目 事業の効率化・事業費		
(大)(学)注	事業の効率化・事業員 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	_
	V 133//-W	- 子来 1/4の 八川 「子が以目に小 / 旭/ / といる	7
4		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		参加していただいています。	
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	<del>  **</del>	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
			1
理由	委員報酬は市の基準どおり	です。	
▼ 4 1分≒ボ/エルナロ ▼			

### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	社会教育法に定められた社会教育委員は、市の社会教育に対して助言をする重要な役割があります。意見、提言の場として、引き続き社会教育審議会の開催をしていきます。社会教育委員が県社会教育委員連絡協議会の研修会等に参加するなどし、多様な生涯学習施策の情報や他市の生涯学習活動について情報交換する機会を設けることが重要となるため、研修機会確保の必要があります。

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

# 事務事業評価シート(1/2) \*\*\* (1/2)

3頁 14時32分15秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 0005751020 生涯学習課生涯学習係 所属

事務事業 02489 【基本情報】 生涯学習市民参画推進事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】						
計画次数	02 第 8 次安城市総合計画					
5 Kの分類	004 きずな					
項目(施策)	004 1 4 生涯学習					
施策の方針	003 学びの成果を地	域に生かすつながり	りづくり			
事務事業	004 生涯学習市民参	画推進事業				
事業期間	平成13年度 ~					
実施方法	直営					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目		
健幸事業		マニフェスト		地方創生		
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第	[6号、公民館の設置	置及び運営に関する基準第3	条第1項		
備考						

【事業分析】

▲ 事業分別 】	
対象	生涯学習に意欲のある市民団体が
目的	市と協働することにより、活発に活動できるようになります。
手段	市民団体が企画運営する講座を募集し、市と協働で市民企画講座を開催します。自主グループが自ら主催する初心者向けの自主グループ主催講座を開催します。
事務内容	講座の募集、開講講座の審査・決定、講座開催の周知・PR、講座の開催等

(単位:千円) 【コスト】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	'ルコスト	2,987	3,456	5,041
事	業費	467	816	1,741
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	31	35	75
	一般財源	436	781	1,666
人	件費計	2,520	2,640	3,300
	正規(人)	0.40	0.40	0.50
その他	2経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
	市民企画講座を開催	市民企画講座を開催	市民企画講座を開催	
【事務事業活動実績】	自主グループ主催講座 を開催	自主グループ主催講座 を開催	自主グループ主催講座 を開催	
【争幼争未/点到天視』	市民企画講座・自主グ ループ主催講座を生涯 学習情報誌で周知	市民企画講座・自主グ ループ主催講座を生涯 学習情報誌で周知	市民企画講座・自主グ ループ主催講座を生涯 学習情報誌で周知	

4頁 令和 4年 8月20日 14時32分15秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業 【定量評価】 上段:目標値 下段:実績値

【 た 主 前 画 】					
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
1年間に新たに活動を 始めた自主グループ数	グループ	19.00 24.00	15.00 18.00	15.00 0.00	
【完性評価】					

【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 必要性 国・県・民間等との補 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 1 市民団体の事業で、他の事業主体が行うものではありません。 理由 必要性 市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である 2 <u>多くの団体、自主グループが活動しています。</u> 理由 有効性 目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている 3 目標値以上の自主グループが新たに活動を開始しています。 理由 事業の効率化・事業費 効率性 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている の削減 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない 4 理由 講座の企画、運営は市民団体が実施しています。 事業規模・サービス水 公平性 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 3 5 団体が、時代や環境に即した講座を実施しています。

#### <u>理由</u> 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	多様化する学習ニーズや社会的ニーズに柔軟に対応するため、市民自らが企画・運営し、市民同士で楽しみながら、学び、教える生涯学習活動を目指すための重要な事業として本事業を実施していくことが必要です。
1次コメント (400文字)	

#### 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

5頁 令和 4年 8月20日 14時32分15秒

0566-76-1515

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 電話番号 02490 家庭教育・子育て支援事業

	# +	.≠±π ¶	
L	母平'	情報 】	

計画次数	計画次数 02 第 8 次安城市総合計画					
5 Kの分類	004 きずな					
項目(施策)	004 14生涯学習					
施策の方針	002 多様なニーズに	応じた学びの機会の	)提供			
事務事業	009 家庭教育・子育	て支援事業				
			T			
事業期間	平成17年度 ~					
実施方法	一部委託					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目		
健幸事業		マニフェスト		地方創生		
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第	7号、公民館の設置	最及び運営に関する基準第4	条		
備考						

### 【事業分析】

対象	子育て中の親が
目的	子育てに関する講座の受講や、親どうしの交流の機会を多く得ることができるようにします。
手段	よりよい家庭教育の推進、社会教育の観点から子育ての支援を図るため、家庭教育講演会や子育ち・親育ち広場 を開催します。
	で開催しるす。
事務内容	家庭教育講演会における講師の選定・委託、開催 子育ち・親育ち広場の運営委託等

	1スト】				(単位:千円)
			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			決算額	決算額	予算額
۲.	- タルコ	コスト	5,007	5,250	6,020
	事業費		597	960	1,400
	国	庫支出金	0	0	0
	県	!支出金	0	0	0
	地	!方債	0	0	0
	そ	·の他	0	0	0
	-	般財源	597	960	1,400
	人件費	計	4,410	4,290	4,620
	正	規(人)	0.70	0.65	0.70
-	        ひ他経費	<b>#</b>			
~(	/ノハル系全省	<b>=</b>	1	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	家庭教育講演会の開催 中止	家庭教育講演会の開催 中止	家庭教育講演会の開催
「市功市光江新中海」	ほのぼの広場、ほのぼ のクラブの開催	ほのぼの広場、ほのぼ のクラブの開催	ほのぼの広場、ほのぼ のクラブの開催
【事務事業活動実績】	安城市小中学校 P T A 連絡協議会の活動を支 援するため補助金を交 付 補助金対象事業が 中止	安城市小中学校 P T A 連絡協議会の活動を支 援するため補助金を交 付 補助金対象事業が オンライン開催	安城市小中学校 P T A 連絡協議会の活動を支 援するため補助金を交 付

# 事務事業評価シート(2/2) 🚓 4年 8月20日

6頁 14時32分15秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業 上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
ほのぼの広場への参加 人数	1	450.00	450.00	500.00
八奴	^	534.00	601.00	0.00

<u>カテゴリ</u>	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	毎年、多くの市民に参加し		
有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	1
理由	目標値を上回る市民に参加		
効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
	NPO法人に事業運営をあ		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他市においても様々か家園	 廷教育事業が実施されています。	

## <u>理由</u> 【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
	社会全体が家庭における子育てや教育を応援し支えていく必要が求められ、地域において親の学びを支援する継 続的な取り組みを行っていくことが必要です。
1次コメント (400文字)	

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

7頁 14時32分15秒

0566-76-1515

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02491 電話番号 生涯学習情報提供事業

【举个阴报】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	004 市民の主体的な	学びを支える環境で	づくり		
事務事業	002 生涯学習情報提	供事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第	16号、公民館の記	段置及び運営に関する基準第	3条第2項	
備考					

【事業分析】

【争美分析】	
対象	市民が
目的	生涯学習情報を容易に得ることができます。
手段	市の生涯学習情報を掲載した情報誌「あんてな」を発行します。情報誌概要版は市内全戸配布、製本版は市内公 共施設で希望者に配布し、生涯学習情報を市民に提供します。
事務内容	生涯学習情報の収集、情報誌作成委託業者の選定・委託等

【コスト】 (単位:千円)

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	ルコスト	9,661	10,736	11,517
事	業費	5,566	5,786	6,567
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,566	5,786	6,567
人	牛費計	4,095	4,950	4,950
	正規(人)	0.65	0.75	0.75
その他	経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	生涯学習情報誌「あん てな」発行 年 4 回	生涯学習情報誌「あん てな」発行 年4回	生涯学習情報誌「あん てな」発行 年 4 回
【事務事業活動実績】			

8頁 令和 4年 8月20日 14時32分15秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

0005751020 生涯学習課生涯学習係 所属 事務事業 生涯学習情報提供事業 02491

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値 令和 4年度

【 <u>定量評価】</u> 指標名	単位	令和 2年度		<u>標値 ト段:実績値</u> →和 4年度
生涯学習情報誌の発行 回数		4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00
カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービ	スを行っていない	_
	)CIE	2       国・県・民間等のサービ         3       国・県・民間等が同様の	「スは不十分で、市で補完する必要がある」 いせ、ビスを行っている	<b>∤ 1</b>
1		3 国・県・民间寺が同様の	リーと人を行うといる	-
				_
理由		D事業主体が行うものではありませ	せん。	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある		
			市民ニーズは低下している	<b>1</b>
2		3 市民ニーズはない又は不	明じのる	-
				1 -
理由	市民が生涯学習の情報を得	見る手段として利用されています <u>。</u>		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標と		
		2 目標を下回る進捗状況で		1
3		3 進捗はかなり遅れている	1	-
				† <b>-</b>
理由	目標どおりの発行ができて	こいます。		
効率性	事業の効率化・事業費 の削減		<u>善に取り組み、具体的な成果を上げている</u>	_
	O) Hilling	2 事業手法の検討や事務改 3 事業手法の検討や事務改	<u> 善に取り組んでいる</u>  善にあまり取り組めていない	<b>∤</b>
4		3 事業子法の検討や事務以	善にのより取り組めていない	<b>!</b>
理由		どによる情報提供をしています。		
公平性	事業規模・サービス水	現境変化や他自治体等と		_
	T	2 環境変化や他自治体等と 3 環境変化や他自治体等と	比較してあまり適正でない。   比較して適正でない	<b>1</b>
5		3 减烧交化下他自归种等色	LLtx O C 地上 C なV I。	† I
理由	他の自治体においても様々	てな方法で情報提供されています。		
1 次評価結果】 『業の方向性	維持・継続			
事業の万円性		<b>ル 時に取得できるよう 多様な情</b>	情報提供を進めるとともに、より分かりや <b>す</b>	こい 使い
			るなど、市民が生涯学習情報を得る重要な	
	て継続的に実施していくこ	ことが必要です。		
次コメント				
(400文字)				
2 次評価結果】	•			
業の方向性	評価未実施	7年中的11年11		
	本事業においては、2次記	⊬伽を実施していません。		
2 次コメント				
(400文字)				

9頁 14時32分15秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 電話番号 0566-76-1515 02493 公民館講座事業

【基本情報】

<u>【                                    </u>						
計画次数	02 第8次安城市総	合計画				
5 Kの分類	004 きずな	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習					
施策の方針	002 多様なニーズに	応じた学びの機会の	)提供			
事務事業	007 公民館講座事業					
事業期間	平成元年度 ~					
実施方法	直営					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目		
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生		
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第	6号、公民館の設置	置及び運営に関する基準第3	条第1項		
備考						

【事業分析】

【争耒刀们】	
対象	市民が
目的	多様な学習機会の提供を受けることができます。
手段	趣味・教養・健康づくりなど、一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながねる学びの機会を提供し、ライフステージ、学びのレベルに応じた学習機会の提供を進めます。
事務内容	講座の企画、講師の依頼、周知、受講生の募集、開催、謝礼の支払

(単位:千円) 【コスト】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		79,607	91,877	105,624
事	業費	5,582	11,027	25,764
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	330	700	678
	一般財源	5,252	10,327	25,086
人	件費計	74,025	80,850	79,860
	正規(人)	11.75	12.25	12.10
その他	 b経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館講座、へきしんギャラクトプラーでものづくり講座等を開催家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、ルパーカレッジは中止	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級館類の児学級、高齢者教室、へきしんギャラクシーブラザでシルバーカレッジ、ものづけ渡座等を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学報、乳幼児学級、おきりができまり、カラックシーブラザでシルバーカレッジ、開催のでは、現在のでは、東京のではないがでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のではないではないでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のではないがではないがでは、東京のではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないが

10 頁 令和 4年 8月20日 14時32分15秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02493 公民館講座事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】 指標名 単位 令和 2年度 令和 3年度 令和 4年度 生涯学習講座・教室の 受講者数 14,500.00 6,500.00 6,750.00 人 2,297.00 6,230.00 0.00

7			I	
	<u> カテゴリ</u>	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
		── ◇民館講座であり 他の事	Ⅰ	
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
		講座によっては、抽選で受		
	有効性	目標に対する進捗状況	1     目標を上回る又は目標どおりの進捗である       2     目標を下回る進捗状況である       3     進捗はかなり遅れている	2
		コロナ禍の影響により、受		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
	[	 講座ごとにアンケートをⅡ		
	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	[	 他の自治体でも同様に公民		
	次評価結果】	一世の日石本でも内依に立し	品が 時圧としている す。	
1 ½	業の方向性 欠コメント 4 0 0 文字)	きがいや充実した個人生活 していく必要があります。	おり、生涯学習に求められるテーマもますます多様化する中で、市民一人ひと の実現につながる学習機会の充実を図るため、市民ニーズにあった講座・教室 業実施方法を検討していく必要があります。	
[ 2	2 次評価結果】			
事業	業の方向性	評価未実施		
	欠コメント 4 0 0 文字)	本事業においては、2次部	価を実施していません。	

14時32分15秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 0005751020 生涯学習課生涯学習係 所属

電話番号 0566-76-1515 事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

計画次数	02 第8次安城市総	合計画				
5 Kの分類	004 きずな					
項目(施策)	004 1 4 生涯学習					
施策の方針	002 多様なニーズに	応じた学びの機会の	)提供			
事務事業	006 公民館地域ふれ	あい事業				
			T			
事業期間	昭和55年度 ~					
実施方法	一部委託					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目		
健幸事業		マニフェスト		地方創生		
根拠法令等	社会教育法第5条、第20	条、公民館の設置及	び運営に関する基準第6条			
備考						

### 【事業分析】

1 チ末ガガオ	
対象	地域住民や地区公民館の利用団体が
目的	地域における交流を深めるようになります。
手段	地区公民館において、地域住民や利用団体が交流する機会と、学習の成果を発表する機会を提供するため、ふれあい事業や公民館まつり等の事業を実施します。
事務内容	地域代表の住民等と事業内容の検討、事業の住民へのPR、事業の実施及び予算の執行

【コス	<b>ト</b> 】			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		80,481	87,629	92,823
事	業費	2,361	4,469	10,983
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,361	4,469	10,983
人	件費計	78,120	83,160	81,840
	正規(人)	12.40	12.60	12.40
 その他	 !経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民 館まつりを開催 中止 地区公民館でふれあい 展示会等の開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催 実施3館、令和4年1月下旬以降の開催はコロナ禍のため中止とした。地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催 一部中止	地区公民館10館で公民館まつりを開催地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催

12頁 14時32分15秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業 【定量評価】

T101 T T T T T T T T T T T T T T T T T T	7 L(M1-0-30-31-100) 1 -3-3-			
【定量評価】				上段:目標値 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
公民館まつり等のふれ あい事業参加者数		40,000.00 2,002.00	20,000.00 8,204.00	20,000.00 0.00

[ ]	定性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		元性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
l 1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	Tm -	0 D M = U = 1 1 1 2 - 1		
	理由	公民館の地区が対象であり		
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	_
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2			3 市民ニーズはない又は不明である	
				•
		   例年多くの方に参加いた/	┃  ┃ ニレハアルサオす	
		目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
	135012		2 目標を下回る進捗状況である	
٦			3 進捗はかなり遅れている	•
3				
	理由		2公民館まつりが中止となりました。	
	効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	<b>1</b>
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	TIII -	ハロダナのハウにモロム・		
-	理由		で、運営方法について協議しています。	
	公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	_
		[ '	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5			3 塚児女心で他日河冲守と比較して適正でない。	
				-
		他の施設においても同様の		
	<u> </u>	TIC TO WELK IC OF VICE OF THE		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	地区公民館において、幅広い世代の地域住民の交流を広げるために、各地域、公民館において地域住民のニーズ にあった特色を出した事業を展開していく必要があります。
1 次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

E - O'CHI IMMENICA	
事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

13 頁 14時32分15秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度

0005751020 生涯学習課生涯学習係 所属

事務事業 02498 【基本情報】 講座等参加支援事業

電話番号 0566-76-1515

会計区分健幸事業根拠法令等	直告     一般会計     事業区分     義務的 / 政策的     性質別費目       マニフェスト     地方創生       社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項				
事業期間 実施方法 会計区分	平成元年度~				
事務事業	002       多様なニーズに応じた学びの機会の提供         002       講座等参加支援事業				
項目(施策) 施策の方針	004 14生涯学習 002 多様なニーズに	広じた学びの機会の	<b>5</b> 担併		
計画次数 5 Kの分類	02   第8次安城市総合計画     004   きずな				

【事業分析】

<u>▶●未刀彻】</u>	
対象	子育て世代や障がい者が
目的	希望する講座を受講しやすい環境を作ります。
手段	子育て世代への講座参加支援として、託児付きの講座を開催します。また、障がい者への参加支援として、手話 通訳者や要約筆記者を設置した講演会等を開催します。
事務内容	託児者、手話通訳者、要約筆記者の手配、報償費の支払、託児世話人研修会の開催、託児世話人賠償責任保険の加入

(単位:千円) 【コスト】

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	2,699	3,293	6,658
事業費	1,439	1,973	5,338
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	33	70
一般財源	1,439	1,940	5,268
人件費計	1,260	1,320	1,320
正規(人)	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	託児付講座の開催の中	託児付講座の開催	託児付講座の開催
【事務事業活動実績】	サ 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催 中止	手話通訳者・要約筆記 者をつけた講座等の開 催	手話通訳者・要約筆記 者をつけた講座等の開 催

14 頁 14時32分15秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係 事務事業 02498 講座等参加支援事業

【定量評価】 上段:目標値 下段:実績値

上校, 自协能				
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
参加支援をした講座数	講座	35.00	35.00	35.00
		0.00	18.00	0.00

[ [	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	・県・民間等との補 性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
	理由		■ I ■ I ■ I ■ I ■ I ■ I ■ I ■ I ■ I ■ I	
2	1	民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	理由多			
3	-	標に対する進捗状況	1     目標を上回る又は目標どおりの進捗である       2     目標を下回る進捗状況である       3     進捗はかなり遅れている	2
	理由	ロナ禍の中、講座実施		
4		業の効率化・事業費削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
	理由	ロナ対応として、手	まを託児グループと検討、改正しました。	
5	公平性事準	業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	<u>!の自治体でも、託児</u> ・	9手話通訳の設置を行っています。	

## 理由 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント	女性活躍推進法、障害者差別解消法が制定・施行され、育児に携わる女性の社会参加を促すため、生涯学習の機会を提供することが重要であり、子育て世代の生涯学習を推進していくため、市民や市民団体の協力を得ながら、託児付きの公民館講座を継続的に開催していく必要があります。また、障がい者に対しても手話通訳者や要約筆記者を設置した講演会等の開催など障がい者に対する差別解消の施策が必要となる中で、今後も本事業に取り組んでいくことが必要です。

### 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

1頁 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係 書小年の家管理運営事務

事務事業 02499	青少年の家管理運営事務	<b>軍の家管理運営事務</b> 電子 電子 電話番号 できます 電話番号 できます これ こうしゅう こう こうしゅう こう こうしゅう こう			
【基本情報】	基本情報】				
計画次数	02 第8次安城市総	画信合約			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	004 市民の主体的な	学びを支える環境:	づくり		
事務事業	001 青少年の家管理	 里運営事務			
事業期間	昭和58年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市青少年の家の設置及	なで管理に関する条件	列		
備考					
【事業分析】					
対象	青少年の家利用者が	青少年の家利用者が			
目的	施設を快適に利用すること	こができます。			

利用申請書の受付、施設管理事務等 事務内容 【コスト】 (単位:千円)

青少年が研修等の活動を行うため施設内の部屋を貸し出し、活動をする場所を提供します。

	-	△和 ○左座	△和 ○左座	(十位:11J)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	ルコスト	19,725	20,054	22,520
事	業費	17,835	17,414	19,880
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,890	2,020	1,800
	一般財源	15,945	15,394	18,080
人	件費計	1,890	2,640	2,640
	正規(人)	0.30	0.40	0.40
その他	.経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	青少年の家利用回数	青少年の家利用回数	青少年の家利用回数
	2,759回	3,691回	3,800回
	利用人数	利用人数	利用人数
	24,978人	37,053人	40,000人

手段

2頁 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係 事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

【定量評価】

上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
青少年の家利用登録団 体数青少年団体	団体	90.00	80.00	70.00
		83.00	71.00	0.00
青少年の家利用登録団 体数一般団体	団体	85.00	75.00	85.00
PT-XX DXEIPT		78.00	86.00	0.00

_ [ ]	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
		青少年の健全な育成を目的		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
		青少年団体等が活動する施		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	2
	理由	青少年団体が減りつつあり	。 ます。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
		利用の促進につながる取り		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	利用団体が必要とするサー		

### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	青少年の健全な育成を目的とした施設であり、青少年団体の活動の場として多くの団体が登録し施設を利用しています。また、青少年団体以外の一般団体からも利用されています。 コロナ禍の影響により利用制限をする期間があり、登録団体数、利用回数及び利用人数は減少しています。引き 続き多数の団体に定期的に継続して利用してもらい稼働率を伸ばす工夫が必要です。

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

電話番号

3頁 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02500 少年団体支援事業

【基本情報】 02 第8次安城市総合計画 計画次数 5 Kの分類 004 きずな 項目(施策) 004 14生涯学習 学びの成果を地域に生かすつながりづくり 施策の方針 003 事務事業 003 少年団体支援事業 昭和59年度 ~ 事業期間 実施方法 直営 会計区分 事業区分 政策的 性質別費目 一般会計 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等

【重举分析】

備考

【事業分析】	
対象	小学生が
目的	活動を通して健全育成が図られます。
手段	活動する団体等(スカウト、子ども会)に対して補助を行うことで健全育成活動の円滑化を図ります。
事務内容	安城市スカウト連絡協議会、安城市子ども会育成連絡協議会、又は同協議会における各学区育成会の計画・補助 金の申請、事業実施、事業報告、補助金の交付。

【コスト】 (単位:千円) 令和 2年度 令和 3年度 令和 4年度

	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	9,621	9,634	12,932
事業費	5,841	5,674	7,652
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,841	5,674	7,652
人件費計	3,780	3,960	5,280
正規(人)	0.60	0.60	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	安城市子ども会加入者 数5,899人 ボーイスカウト・ガー ルスカウト加入者数3 48人	安城市子ども会加入者 数5 , 3 4 9人 ボーイスカウト・ガー ルスカウト加入者数 3 0 1人	安城市子ども会加入者数5,000人ポーイスカウト・ガールスカウト加入者数300人

4頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係 所属

事務事業 02500 少年団体支援事業

【定量評価】	上段:目標値	下段:実績値
【	工权,口信但	下权,天积但

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
子ども会加入者数	<b>A</b>	5,800.00 5,899.00	5,300.00 5,349.00	5,000.00 0.00
スカウト加入者数	人	330.00 348.00	330.00 301.00	300.00 0.00

_ [ ;	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		完性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	<b>1</b>
١,			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
'				
		地域で活動する団体支援で	あり、他機関は実施していません。	
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		7,70	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	A
			3 市民ニーズはない又は不明である	1
2			3 1550= X18.80 1X18 1 171 C 5 5	
				-
		少年団体から市の支援を必	L L L T L T L T L T L T L T L T L T L T	
	有効性	目標に対する進捗状況		
	HWIE HWIE	日孫に対する進沙がル	1   目標を上回る又は目標どおりの進捗である   2   目標を下回る進捗状況である   2	
			3 進捗はかなり遅れている	つ
3			3 時がはかなり遅れている	
	理由	団体加入者数は減少してい	i · · · I	
	効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	_
		の方向が残	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	<b>1</b>
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
				_
	理由		負担軽減を目指しています。	
	公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		华	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	4
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
ľ				
	理由	他自治体も同様の事業を実	施しています。	
7	1 冷频/带线用】			

### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	子ども会における地域での活動やスカウトによる奉仕活動を通して子どもたちの健全育成を図っていきます。加入者数が減少傾向にあるため、各団体の活動の魅力を発信するとともに、役員や指導者の負担が軽減できるよう 検討します。
1 次コメント (400文字)	

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5 頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02501 青年講座事業 電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

▲ 埜平 涓 報 】					
計画次数	02 第8次安城市総合計画				
5 Kの分類	004 きずな	004 きずな			
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	002 多様なニーズに	応じた学びの機会の	D提供		
事務事業	001 青年講座事業				
事業期間	昭和27年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等					
	平成28年度の事務事業の	見直しにより、平成	<b>戈29年度から以下の事業を</b>	統合しています。	
	・ユースカレッジ事業・	ヤングセミナー事業	É		
   備考					
113 3					

【事業分析】

対象	講座に参加する青年が
目的	余暇を有効に活用して、生涯学習を行う又は深める機会を提供します。
手段	様々な分野で、青年自身の生涯学習となる講座を年間を通じて開催します。
事務内容	講座の企画・立案、開催。講師の選定。受講者の募集。

【コスト】 (単位:千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	3,881	1,206	6,927
事業費	416	546	1,647
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	17	14	25
一般財源	399	532	1,622
人件費計	3,465	660	5,280
正規(人)	0.55	0.10	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	青年講座数 3 講座 ユースカレッジ講座回 数 12回	青年講座数 12講座 ユースカレッジ講座回 数 23回	青年講座数 8 講座 ユースカレッジ講座回 数 36回
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート(2/2) キ和 4年 8月20日

6頁 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02501 青年講座事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】 指標名 単位 令和 2年度 令和 3年度 令和 4年度 ヤングセミナー(青年 講座)参加者数 60.00 50.00 80.00

人 20.00 102.00 0.00 ユースカレッジ修了者 数 15.00 15.00 15.00 人 10.00 16.00 0.00

[ ]	2性評価】	_		
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		元性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	<b>1</b>
1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
'				<b>–</b>
	理由	青年の育成を目的とした事	業のため市が実施します。	
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	<b>a</b>
2			3 市民ニーズはない又は不明である	
_				<b>–</b>
	理由	参加希望者は減少しつつあ	ります。	
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	1
3			3 進捗はかなり遅れている	Ť
١ ،				
	理由	コロナ禍が一段落し、以前		
	効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	<b>a</b>
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
4				
L	理由	講座内容や参加条件の見直	しを実施しています。	
	公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	<b>1</b>
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
١٦				
L	理由	ユースカレッジは同種の事	業を実施する自治体が減少しています。	
	1 \5 ÷ π / π / ± + + + +   1		<del></del>	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	青年に余暇を活用した学びの場を提供することで、教養や経験を高めるとともに地域や職場でのリーダーとして成長してもらうために必要な事業であり、今後も継続していきます。ただし、ユースカレッジ、青年講座ともに参加者が減少しているため、講座内容や参加条件の見直しや事業実施に関する周知方法を検討し、多くの青年が参加する魅力のある事業にしていく必要があります。

### 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

7 頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02502 成人の日記念事業 電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

【空中月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	001 14生涯学習そ	· の他			
事務事業	002 成人の日記念事	 業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
	としてお祝いの式典を開催	することとした。	ヾ2 0 歳から 1 8 歳に引き下! た」から「二十歳を祝う会」!		おり20歳を対象
備考					

【事業分析】

【争美为竹】	
対象	今年度二十歳を迎える人が
目的	二十歳という人生の節目を祝福されるため、二十歳を祝う会に参加します。
手段	二十歳を祝福する記念式典とアトラクションを開催します。
事務内容	二十歳を祝う会の開催 ・実行委員会の開催 ・会場設営、警備などの委託 ・記念冊子作成 ・対象者、来賓等への案内

【コスト】 (単位:千円)

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トーク	タルコスト	9,267	8,247	12,518
事	業費	5,487	5,607	8,558
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,487	5,607	8,558
人	、件費計	3,780	2,640	3,960
	正規(人)	0.60	0.40	0.60
その他	也経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	成人者の式典参加者数	成人者の式典参加者数	対象者の参加者数
	第1部 797人	第1部 837人	第1部 800人
	第2部 770人	第2部 827人	第2部 800人
	合計 1,567人	合計 1、659人	合計1,600人
	(東祥アリーナ安城に	(東祥アリーナ安城に	(東祥アリーナ安城に
	て開催)	て開催)	て開催)

8頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02502 成人の日記念事業

【定量評価】				上段:目標的	直 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和	4年度
式典の参加者率	%	77.00 68.80	69.00 74.50		75.00 0.00
【定性評価】					
カテゴリ	評価の観点		基準		ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサー	- ビスを行っていない		
	元性	2 国・県・民間等のサー	- ビスは不十分で、市で補完する!	必要がある	1
1		3 国・県・民間等が同様	<b>羕のサービスを行っている</b>		

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
	↓   他機関では実施していませ	<u> </u>	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	対象者の7割程度が参加し	ています。	
有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	1
理由	目標以上の出席がありまし	tc.	
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
	対象年齢の代表者が企画・		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	多自治体も同様の事業を実	施しています。	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	二十歳という人生の節目を祝福する場として必要であることから、今後も継続して事業を実施します。今後もふさわしい内容やより多くの対象者が参加できる式となるよう、内容を充実させる必要があります。 民法改正に伴い、必要に応じてこれまでの事業を見直します。
1 次コメント (400文字)	

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

9頁 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02503 【基本情報】 青少年指導者養成事業

電話番号

【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総合計画				
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 1 4 生涯学習				
施策の方針	003 学びの成果を地	地域に生かすつなが	ごりづくり		
事務事業	002 青少年指導者養	<b>養成事業</b>			
事業期間	昭和28年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等				·	
備考	・青年指導者養成事業 平成29年度の公開行政レ			事業 ・市民盆踊りの集い 盆踊りの集い開催事業を廃	
【事業分析】					
対象	青少年が				
目的	生涯学習の機会を得て、社	<b>社会活動への参加・</b>	交流及び地域のリーク	ダーとしての資質を得ます	0

【コスト】 (単位:千円)

研修会開催通知発送、行事企画運営の指導、指導者の育成。

青少年が行事を企画・実施する能力を養うため、研修会に参加したり企画したものを実施します。

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	ルコスト	938	1,636	1,114
事	業費	308	316	454
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	308	316	454
人	件費計	630	1,320	660
	正規(人)	0.10	0.20	0.10
その他		0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	ジュニアリーダー研修 会、市子連行事及び市 主催行事参加回数 3 回	ジュニアリーダー研修 会、市子連行事及び市 主催行事参加回数 7 回	ジュニアリーダー研修 会、市子連行事及び市 主催行事参加回数 1 2 回 青年企画委員会による イベント開催

手段

事務内容

10頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係 事務事業 青少年指導者養成事業

02503 【定量評価】

	700%7%			
【定量評価】				上段:目標值 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
ジュニアリーダークラ プ会員数	<b>J</b>	15.00 10.00	15.00 14.00	15.00 0.00
企画実行メンバー(養 成対象)人数	<b>A</b>	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00

<u>定性評価】</u> カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	国・県・民間等との補 完性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	4
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		3 E N MIGUS FINOS CNCIS CO. C	
	地域におけるリーダーの		
	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
	15 C	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	4
		3 市民ニーズはない又は不明である	1
2		3 19 EV - XIB-GV 1 XIB-191 C 00 0	ı
理由	子ども会からの派遣要請が		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	7
3		3 進捗はかなり遅れている	
			_
理由		企画委員会が実施できませんでした。	
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	の方向リルペ	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	<b>1</b>
4		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
		_   業となるよう取り組んでいます。	
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	4
_		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5		2 MAY WELD LIBERIAL ALCOHOLOGICA COMPANION COM	
			-
	4年前に事業規模を縮小		
1次評価結果】			
<b>業の方向性</b>	維持・継続		
	青少年が地域におけるリ-	- ダーとなるために必要な知識や技術、企画力を習得し、地域社会で活躍できる	人材と
	なることを目的として実施	施しており、今後も事業を継続する必要があります。	
次コメント			
(400文字)			

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

11頁 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02504 青少年健全育成事業 電話番号

<b>尹初尹未</b> 02304	月少午姓王月瓜尹未	十姓王 月 <b>以</b> 尹 未			
【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	005 こども				
項目(施策)	002 18学校教育				
施策の方針	003 豊かな心やたく	ましい体の育成と健康	<b>東教育の推進</b>		
事務事業	010 青少年健全育成	事業			
事業期間	昭和57年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市青少年愛護センター	安城市青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例			
	平成28年度の事務事業の	見直しにより、平成2	2 9年度から以下の事業を約	 充合しています。	
	· 青少年健全育成会等活動	推進事業・青少年徒	<b>5頭指導事業 ・こども110</b>	番の家設置事業	
	・地域のおじさん・おばさ	ん運動推進事業			
┃ ┃ 備考	平成30年度をもって、地	域のおじさん・おばさ	さん運動を廃止し、青少年後	封頭指導を休止しま	した。
開写	平成31年度より事務事業	名を以下のとおり変更	<b>更しています。</b>		
	(旧称)青少年愛護セン	ター事業 (改名)	) 青少年健全育成事業		
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	· · · · · · · ·			

【事業分析】	
対象	青少年を
目的	地域で見守ることで有害環境から守り、家庭の外での安全性を確保し、青少年の健全育成に資するものです。
手段	青少年に対しての声かけ、こども110番の家ののぼり旗設置による犯罪抑止、各小中高等学校の青少年健全育 成会等に活動を委託しています。
事務内容	青少年健全育成の推進。各小中高等学校の青少年健全育成会等との委託契約、活動内容の把握及び指導。こども 1 1 0 番の家加入状況の管理とのぼり旗の配布。困難を抱える若者に対する支援。

【コスト】 (単位:千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	9,888	11,126	15,036
事業費	6,108	6,506	9,096
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	89	45	26
一般財源	6,019	6,461	9,070
人件費計	3,780	4,620	5,940
正規(人)	0.60	0.70	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	健全育成会数 36	健全育成会数 36	健全育成会数 36
	健全育成協議会数 9	健全育成協議会数 9	健全育成協議会数 9
	こども110番の家の	こども110番の家の	こども110番の家の
	ぼり旗配布	ぼり旗配布	ぼり旗配布
	のぼり旗設置状況調査	のぼり旗設置状況調査	のぼり旗設置状況調査
	(全件)	(全件)	(全件)
	若者相談回数202回	若者相談回数222回	若者相談回数200回
	親の学習会 5回	親の学習会 6回	親の学習会 6回

12頁 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02504 【定量評価】 青少年健全育成事業

<b>デ加デ木 02007 日</b> ク	十姓工日以 <del>ず未</del>			
【定量評価】				上段:目標值 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
こども110番の家設 置数	箇所	1,220.00 1,215.00	1,220.00 1,190.00	1,200.00 0.00
困難を抱える若者相談 者数	Д	50.00 80.00	80.00 85.00	90.00 0.00

定性評価				
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性		国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		元注	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		ま小ケはくなぜのもよって		
<u>理由</u> 必要性		<u> 青少年健全育成のための</u> 市民ニーズの有無	事業であり他機関では実施していません。   1   Ltd	
少女注		門氏ニースの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	_
			3 市民ニーズはない又は不明である	1
2			3   PK=-×はない文は小明である	
				•
理由		社会全体の問題であり、劇		
有効性		目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	<b>1</b>
3			3 進捗はかなり遅れている	1
<b>^</b>				
理由		子ども110番の家設置作		
効率性		事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	_
		O) Hij hijk	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	1
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
				•
 理由			_	
公平性		事業規模・サービス水	、文後ができる取組にしなりた。 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	4
_			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
5			THE SECOND COMMENTS OF	
理由		市民が必要とするサービス	ス水準となっています。	
1 次評価約				
業の方向	性	維持・継続		
			ため、必要な支援を行う事業です。	- 4nk 6 <del>+</del>
			で化しており、抱える問題も多様化しています。必要とされる取組や支援を今後 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	七継統
\h		して実施していきます。		
次コメン 400文				
4000	<del>」</del> )			
2 次評価約	结果】	:		
業の方向		評価未実施		
		本事業においては、2次記	平価を実施していません。	
次コメン	•			
次コメン 400文	•			

13頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業 電話番号

【基本情報】

▲ <del>空中</del> [刊 ]					
計画次数		安城市総合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 14生	涯学習			
施策の方針	003 学びの	成果を地域に生かすつなが	「りづくり		
事務事業	001 青少年	ボランティア活動支援セン	ター事業		
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					
m 9					

【事業分析】

▲ 事業が作 】	
対象	青少年団体が
目的	活動においてボランティア講師等を必要とした場合の支援をします。
手段	ボランティア情報の収集・提供、相談などボランティアに関するコーディネートを行う。また、指導者や講師を 登録し、青少年活動を支援する人材として活用します。
事務内容	ボランティアの発掘、登録、コーディネート

 【コスト】
 (単位:千円)

 今和 3年度
 今和 4年度

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,652	1,727	1,864
事業費	1,022	1,067	1,204
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2	0	0
一般財源	1,020	1,067	1,204
人件費計	630	660	660
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	青少年ボランティアの コーディネート件数 3件	青少年ボランティアの コーディネート件数 13件	青少年ボランティアの コーディネート件数 40件

14 頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

テが子来 02000 円フトがフンティア加勤又放 Cファーチ来				
【定量評価】				上段:目標値 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
コーディネート件数	件	40.00 3.00	40.00 13.00	40.00 0.00
登録者数	人	50.00 49.00	50.00 49.00	50.00 0.00

1	+=/= - /= -	++ >++	- 、 -
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	_
	7612	- H X 2013 3 3 2 7 13 2 7 15 2 1111 3 3 3 3 3 3 3 3	7
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	ボランティア活動推進のか		
<del>性四</del> 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
20 30 12	1500 X00 1377	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	4
		3 市民ニーズはない又は不明である	1
		3 1750- 7713-37-7713-1-13-655-3	
理由	子ども会などの青少年団体	▲からの派遣要請があります。	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	<b>1</b>
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	派遣要請が少なく、目標を		
効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	איווינון כס	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	7
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	ル年団体への派遣PRや広軸		
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	Ť
理由	社協や他自治体でも同様の	D.事業を宇施しています	

事業の方向性	維持・継続
	子ども会をはじめとした青少年団体がボランティアを必要とする機会が多いため、ボランティアをコーディネートする当該事業は今後も継続して実施します。また、ボランティア登録の募集、コーディネートを必要とする団体への呼びかけも引き続き行います。
1 次コメント (400文字)	

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

15 頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係 所属 重羟重丵 02507 子ども運動広場補助事業

電話番号 0566-76-3432

TIDT *	02001
【基本情報】	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	004 14生涯学習				
施策の方針	001 14生涯学習そ	の他			
事務事業	001 子ども運動広場	補助事業			
			<del>,</del>		
事業期間	昭和53年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	子ども運動広場設置事業補	助金交付要綱			
備考					

### 【事業分析】

L テポカル 2	
対象	子どもたちが
目的	地元の広場で安全に運動できます。
手段	町内会が設置する子ども運動広場の開設、設備の更新・修繕、管理にかかる費用等を補助金交付要綱に基づき、補助しています。
事務内容	補助金交付要綱に基づき、町内会から申請書受理。その後審査、決定、交付事務。

【コスト	-]			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータル	レコスト	18,832	19,094	19,059
事業		17,887	16,454	17,739
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	17,887	16,454	17,739
人作	<b>‡費計</b>	945	2,640	1,320
	正規(人)	0.15	0.40	0.20
<b> </b>				
その他約	经費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	2 4 箇所の子ども運動 広場に補助	2 4 箇所の子ども運動 広場に補助	2 3 箇所の子ども運動 広場に補助
【事務事業活動実績】			

16頁 令和 4年 8月20日 14時31分10秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

所属 事務事業 02507 子ども運動広場補助事業 【定量評価】

定量評価】	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	上段:目標值 下段:実 令和 4年度
子どもたち	の利用回数		3,000.00 1,295.00	2,000.00 1,359.00	2,000.
定性評価】			L_		1 -> -
必要性	カテゴリ	評価の観点 国・県・民間等との補		基準 ごろを行っていない	ランク
		完性		ごスは不十分で、市で補完する必	<b>2</b>
理由		町内会による広場の管理道			
必要性 2		市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	)市民ニーズは低下している	1
		 地域の子供たちや少年団体	ー kが利用します		
有効性		目標に対する進捗状況	1     目標を上回る又は目標と       2     目標を下回る進捗状況で       3     進捗はかなり遅れている	である	2
<u></u>					
理由		コロナ禍により少年団体の 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改 2 事業手法の検討や事務改	対善に取り組み、具体的な成果を 対善に取り組んでいる 対善にあまり取り組めていない	2
理由			<u> </u>		
公平性 5		事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と 2 環境変化や他自治体等と 3 環境変化や他自治体等と	:比較してあまり適正でない。	1
理由		多事業の水準に合わせた社	- <b>II</b> 輔助となっています。		
1 次評価編	課】				
選業の方向性 次コメント 400文号	<b>-</b>		そども運動広場の開設や維持管理等 0向上及びスポーツの振興を図る <i>†</i>		
2 次評価組	吉果 】				
業の方向性	±	評価未実施 本事業においては、2次記	P価を実施していません。		
2 次コメント ( 400文字					